

2025 年度

大阪大学 卓越大学院プログラム

「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」

Transdisciplinary Program for Biomedical Entrepreneurship and Innovation

学生募集要項

2024 年 9 月

大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構



大阪大学 卓越大学院プログラム

生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養

Transdisciplinary Program for Biomedical Entrepreneurship and Innovation

アドミッション・ポリシー

1. 「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」の概要

生命医科学の最高到達点は、ヒトの生命活動を解明することにあります。そのためには、卓抜した基礎研究成果を、厳格な倫理観のもとで社会実装し、豊かな社会を創造するとともに、そこで生じた新たな研究課題をアカデミアに戻し、その解決のためにさらに研究を進めるという研究開発エコシステムを円滑に循環させる必要があります。このため、卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その成果を社会応用する「社会実装力」の両者を兼ね備えた博士人材を育成せねばなりません。

日本のアカデミアにおける新規ライセンス件数は米国の約 40%に達しています。一方、ライセンス収入は米国の 1%程度という現状です。このことは研究成果を社会実装しきれていないこと、研究開発エコシステムを十分機能させていないことを示しています。

このことから、我が国において生命医科学の研究成果を社会実装する人材の育成が急務です。従来のように視野の狭い研究のみにとどまっていたのでは発展は望めません。いわんや、ヒトの生命活動の解明などは及びもつきません。しかし、社会実装のノウハウを鍛えただけの人材では研究の目利きができないため、研究成果の独創性、優位性を目利きする能力をもつ人材が社会実装力を身につけることが必要です。本当の社会実装の能力は、主体的に研究成果をあげた経験のある人でないと身につけることは困難です。

本プログラムでは、アカデミア、国内外の企業、行政が一体となって、国際競争に打ち勝ち優位性のある研究成果を挙げる研究実践力と、自らの研究成果を迅速にまた効果的に社会に還元していく社会実装力の両者を兼備した人材の涵養を図ります。

本プログラムで養成する人材は、

- ・ **卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用する「社会実装力」を兼備した博士人材**
- ・ **研究成果の優位性、発展性を学術的に的確に分析し、その成果が有する社会実装ポテンシャルを知財、市場性、規制科学など様々な角度から分析し社会実装を推進することにより、研究開発エコシステムをまわすことのできる卓越人材**

です。俯瞰力養成のため、大阪大学独自の文理融合教育も実施します。

2. 「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」プログラムの特色

【特色】

本プログラムは「**主専攻型**」で、これまでのリーディング大学院プログラムなどの「**副専攻型**」ではありません（註1）。

医学系研究科（医学専攻、保健学専攻）、歯学研究科、薬学研究科（創成薬学専攻、医療薬学専攻）、生命機能研究科のいずれかの合格者の中から、本プログラムの受講を希望する学生に対して、本プログラムの選抜試験を実施します。

医学系研究科保健学専攻、薬学研究科創成薬学専攻、生命機能研究科の学生は 5 年制コース（博士前期、後期課程、一貫制博士課程）に、医学系研究科医学専攻、歯学研究科、薬学研究科医療薬学専攻の学生は 4 年制コース（博士課程）に入学します。募集人員は 5 年制コース・4 年制コースあわせて 15 名程度です。

入学後は、所属研究科固有の教育を受けながら、対面（オンサイト）形式で研究科共有の社会実装教育を受けます。プログラムを履修する場合の修了要件単位数は、プログラムを履修しない場合と比較して、ほとんど変わりません。

4年制コースと5年制コースの社会実装教育の違いは、5年制コースの1年次に医歯薬学の入門として、医療現場を実感する教育を受ける点です。

前半の研究実践力の涵養では、研究の壁を打破する秘訣などについて卓越した研究者との議論など分野の枠を越えたコミュニケーション能力を培う研究コミュニケーション力涵養、異分野領域実習が行われます。

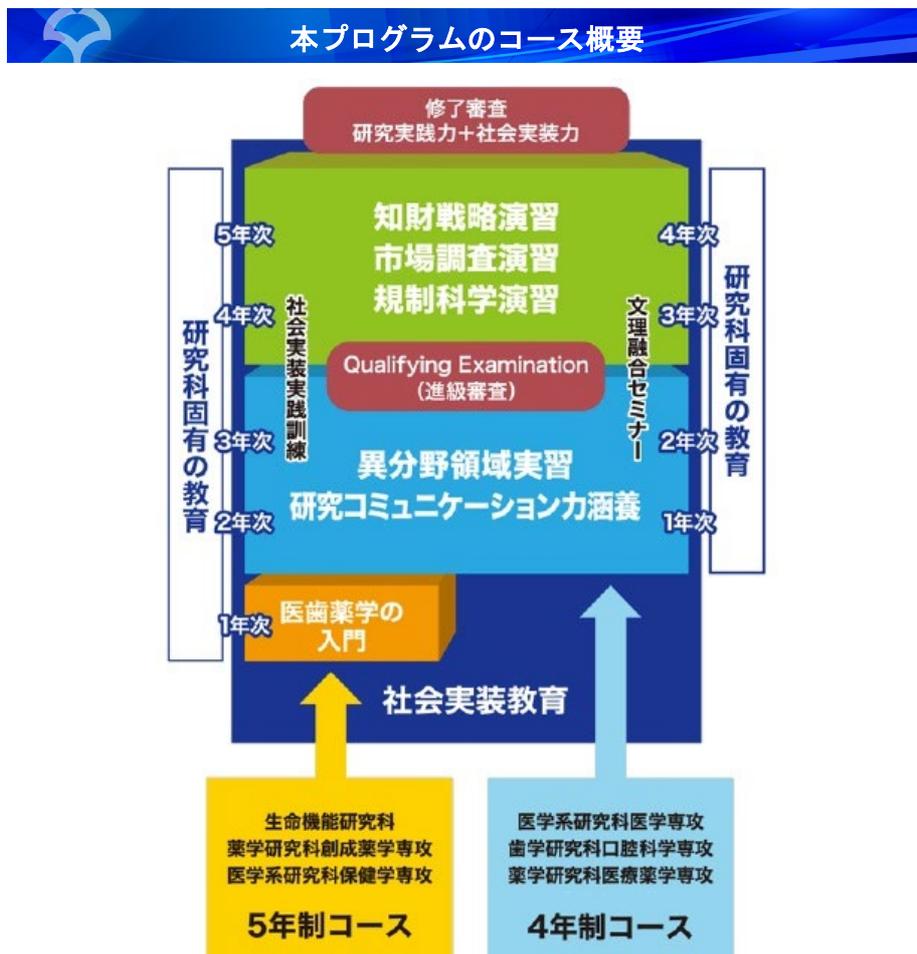
後半の社会実装力の涵養では、これまでの日本の医歯薬生命系大学院でまとまった教育がほとんどない市場・ニーズ調査とその分析、知財戦略、規制科学についての教育が行われます。さらには、社会実装の実践訓練を通じ、自らの研究成果を社会実装するための課題と、その課題解決プランについて考えます。

本プログラムでは、国内外の大企業や産官学ネットワーク組織（註2）が教育に参画しており、グローバルなメガファーマや国内外の企業から直接教育が受けられます。

また、研究俯瞰力をつけるために、大阪大学ならではの文理融合教育も行われる特徴があります。

（註1）副専攻型のプログラムを修了するためには、学位取得のために研究科が必要とする単位に加え、プログラム固有の単位を取得する必要があります。これに対し、主専攻型のプログラムでは、プログラム固有の科目も研究科修了のための科目としてカリキュラムが編成されています。このため、プログラム修了における学生の負担は副専攻型と比べ主専攻型の方が軽い特徴があります。

（註2）参加企業、団体（学外）：Pfizer、Novartis Pharma、Johnson & Johnson Innovation、IQVIA、Cytiva、日本イーライリリー、中外製薬、大塚製薬、塩野義製薬、第一三共、田辺三菱製薬、シスメックス、タカラバイオ、クオンタムオペレーション、EY Strategy and Consulting、大阪府、PMDA、国立医薬品食品衛生研究所、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所



【学位の質の保証】

5年制コースの3年次及び4年制コースの2年次修了時に、**Qualifying Examination(進級審査)を実施し、研究実践力の評価**を行います。ここでは、各々の研究科固有の教育に加えて社会実装教育の中の「医歯薬学の入門」「研究コミュニケーション力涵養」「異分野領域実習」を履修することで得られた研究成果が、社会実装に繋がりを有する先端的研究成果であるかを評価します。この審査は本学の教員によって行われます。

このQualifying Examination(進級審査)に合格した学生はさらなる社会実装力の涵養を目指す教育へ進みます。修了審査では**自らの研究成果を社会実装するための課題と、その課題解決プランに関する取り組みの成果を発表**し、審査に合格すれば「社会実装力」を有しているものと評価されます。この審査には、本学の教員のみならず学外からのプログラム担当者が参加します。

さらに各々の研究科の学位に相応しいかの審査が研究科独自にあります。

これら2回の審査を経て研究実践力、社会実装力の両者を有していると評価されると、研究科固有の学位に「生命医科学の社会実装プログラム修了」を付記して授与されます。

3. 求められる学生像

本プログラムでは、

医学系研究科：医学専攻、保健学専攻

生命機能研究科：生命機能専攻

薬学研究科：医療薬学専攻、創成薬学専攻

歯学研究科：口腔科学専攻

に入学する学生の中から広く募集し、以下のような適性をもつ学生を選抜します。

- 生命医科学に**強い興味**をもつ
- 未知のものに対する**強い好奇心**をもつ
- 自らの研究成果を**俯瞰し評価**できる
- 専門分野を超えて交流を行うための**コミュニケーション能力**に優れている
- 専門領域の知識に固執することなく、異分野領域の知識も取り入れることのできる**柔軟性**をもつ
- 世界的に活躍する**国際的マインド**をもつ
- 自らの成果などについて短時間で伝えることができる
- 将来、大学、企業、行政のいずれにおいても**リーダー的存在**として必要とされる

4. 学生の選抜方針

本プログラムに参加することを希望する学生は、**まず各々の研究科に合格する**必要があります。さらに**本プログラムの選抜を二段階**で行います。

一次選抜では、応募書類に記載していただく応募動機及び大学院入試の成績により、これまでの学力、本プログラムに参加する意欲を審査します。

二次選抜では、面接により、上述の「求められる学生像」を基準に審査します。

2025 年度 大阪大学卓越大学院プログラム
「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」 学生募集要項

大阪大学卓越大学院プログラム「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」では、アドミッション・ポリシーに基づき履修者選抜を実施します。

1 募集人員

4 年制コース・5 年制コース 15 名程度

2 出願資格

■5 年制コース

- 1 2025 年 4 月に本学大学院博士前期課程（医学系研究科（保健学専攻）、薬学研究科（創成薬学専攻））に入学予定の者。
- 2 2025 年 4 月に本学大学院 5 年一貫制博士課程（生命機能研究科）に入学予定の者。

■4 年制コース

- 1 2025 年 4 月に本学大学院博士課程（医学系研究科（医学専攻）、歯学研究科（口腔科学専攻）、薬学研究科（医療薬学専攻））に入学予定の者。

※留学生の方へ：本プログラムのカリキュラムの多くが日本語で実施されます。選抜試験では日本語能力を問うため、面接の質問は日本語で出題されます。

For international applicants: Most of the courses in this program are conducted in Japanese. The selection interview will be held in Japanese to test your Japanese language proficiency.

3 出願手続

「2 出願資格」に該当する者は、下記の要領で出願手続を行ってください。

- ◎出 願 方 法……インターネットによる受付（応募フォームによりエントリーしてください。）
URL： <https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/bei/course-method/>
※応募書類にはパスワードはかけないようにしてください。
- ◎出 願 期 間……2025 年 2 月 20 日（木）10 時 ～ 2 月 27 日（木）17 時
- ◎出 願 書 類……出願に関する書類等一覧表にある様式 1 及び様式 2
※検定料は必要ありません。

出願に関する書類等一覧表

書類		内容
1	出願理由書（様式 1）	【書類選考の対象となります。】アドミッション・ポリシーを熟読した上で、所定の用紙に記入してください。また、写真（3 か月以内に撮影）を貼付してください。 ※入学予定の研究科の入学試験成績を卓越大学院プログラムの選考に利用することについて、同意のうえ出願してください。
2	履歴書（様式 2）	【書類選考及び面接の参考資料とします。】所定の用紙に記入してください。

出願書類は、PC 入力が見ましいです。様式は本プログラムホームページ（※2）応募方法より、ダウンロードできます。

選抜プロセス

選抜プロセス (内容)	期日	時刻	場所
出願期間	2025年2月20日(木) 10時 ～2月27日(木) 17時	「3 出願手続」 のとおり	「3 出願手続」 のとおり
書類選考合格発表	2025年3月10日(月)	15:00(予定)(※1)	ホームページ(※2)
選抜試験(面接)	2025年3月15日(土)	9:00～17:00 (詳細別途連絡)	大阪大学 医学系研究科
最終合格発表	2025年3月21日(金)	10:00(予定)(※1)	ホームページ(※2)

(※1) 発表時刻は、通信環境等の理由のため予定より遅れる可能性があります。予めご了承ください。

(※2) ホームページ URL : <https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/bei/>

受験番号は、インターネット出願受付直後に通知メールが届きます。1日たっても通知メールが届いていない場合は、迷惑フォルダ内を一度ご確認ください。届いていない場合は、卓越大学院プログラム事務局 (takuetsu-jimu@office.med.osaka-u.ac.jp) までお問い合わせください。

選抜についての注意

- 1 書類選考は、出願理由書により実施します。書類選考の可否通知は2025年3月10日(月)に大阪大学卓越大学院プログラム「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」ホームページにおいて、合格者の受験番号を掲載することにより発表します。電話による可否の問い合わせには応じません。
- 2 選抜試験(面接)は、書類選考合格者のみ受験できます。ただし、各研究科の入学試験不合格者は、選抜試験(面接)を受験できません。試験場所等の詳細な注意事項は上記ホームページにて発表します。なお、選抜試験(面接)実施にあたり、変更等がある場合はホームページでお知らせしますので、必ず確認してください。

最終合格発表

2025年3月21日(金)に大阪大学卓越大学院プログラム「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」ホームページにおいて、最終合格者の受験番号を掲載することにより発表します。電話による可否の問い合わせには応じません。

4 履修手続

大阪大学卓越大学院プログラム「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」に合格した場合は、履修手続が必要となります。履修手続に関しては最終合格発表と併せてホームページに掲載します。なお、本プログラムを履修することによる追加の入学金・授業料は必要ありません。

5 プログラム内容

大阪大学卓越大学院プログラム「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」の内容は、ホームページをご覧ください。

6 個人情報の取扱いについて

- 1 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「履修者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格発表」、「履修手続」等の業務及び卓越大学院プログラムに関する業務を行うために利用します。
- 2 履修者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、選抜結果の集計・分析及び履修者選抜方法の調査・研究のために利用します。

- ③ 上記 ①、② の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部又は一部を提供します。

7 注意事項

- ① 出願書類に不備のある場合は受理できません。
- ② 出願手続後は、原則として記載事項の変更は認めません。
- ③ 出願時に提出された書類は返却しません。
- ④ 受験番号は、出願手続後、メールにてお知らせします。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載をした者は、履修決定後であってもプログラムへの履修許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 大学院研究室での受入予定教員にプログラム履修を希望している旨を、必ず伝えておいてください。
- ⑦ 身体に障害等がある者で、受験に際して特別な配慮を希望する場合は、原則として 2025 年 2 月 17 日 (月) までに卓越大学院プログラム事務局 (takuetsu-jimu@office.med.osaka-u.ac.jp) へ問い合わせてください。
- ⑧ 募集要項に関する Q&A は、大阪大学卓越大学院プログラム「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」ホームページ (<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/bei/>) に順次掲載します。

各種問い合わせ先

大阪大学 卓越大学院プログラム事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 医学系研究科最先端医療イノベーションセンター棟 2 階 203 号室
TEL : 06-6210-8231 (直通) FAX : 06-6210-8232
E-mail : takuetsu-jimu@office.med.osaka-u.ac.jp
URL : <https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/bei/>

令和 7 (2025) 年度 大阪大学 卓越大学院プログラム
「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」
出願理由書
Statement of Purpose

※事務処理欄 (記入不要)
FOR OFFICE USE ONLY
受験番号

(写真)

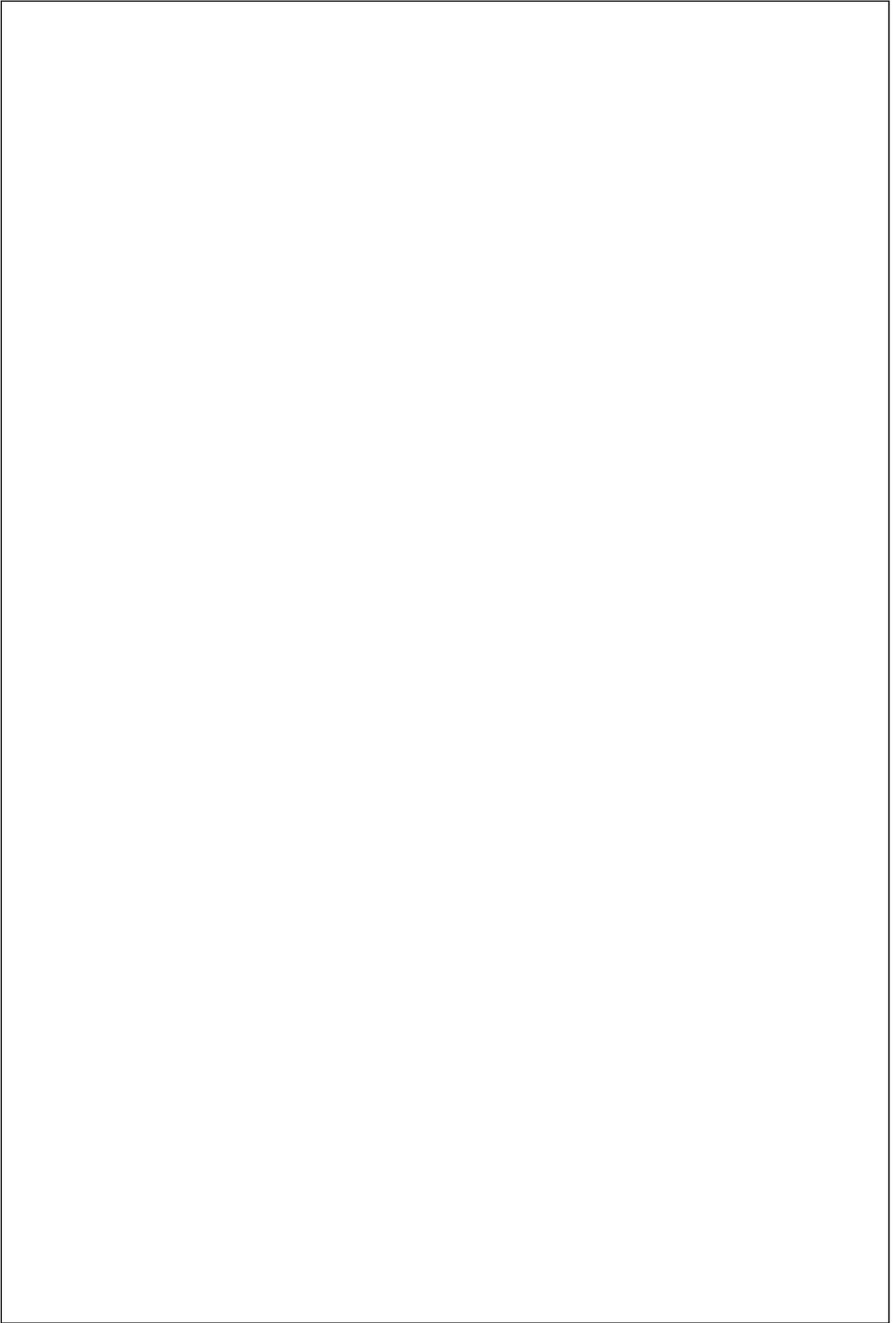
Photograph(Paste here)

1: 上半身脱帽正面向
きで、3ヶ月以内に単
身撮影したものを貼
りつけてください。2: 大きさはこの枠に
合わせてください。
(4 cm × 3.5 cm)

フリガナ Japanese Furigana	
氏名 Name of Applicant	
合格研究科・専攻名 Affiliation	研究科 Graduate School of 専攻 Department of
<input type="checkbox"/> 合格研究科の入学試験成績を卓越大学院プログラムの選考に利用することに ついて、同意します。 ※同意の場合は、チェックボックスに <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。	

「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」のアドミッション・ポリシーを熟読した上で、プログラムの履修を志願する動機、プログラムで学びたいこと、プログラムを履修後にどのような将来像を描いているか等について具体的にわかりやすく書いてください。(英語での記載も可能です。) ワードファイルへの PC 入力で、枠内(表面・裏面)に収まるよう記載してください。(フォントサイズ 10.5pt、図表挿入可)

(裏面に続く)



令和 7 (2025) 年度 大阪大学 卓越大学院プログラム
「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」
履 歴 書
Curriculum Vitae

※事務処理欄 (記入不要)
FOR OFFICE USE ONLY
受験番号

合格研究科 専攻名 Affiliation	研究科 Graduate School of	受入れ指導教員名 (予定) Name of Supervisor		
	専攻 Department of	受入れ教室名 (予定) Name of Laboratory		
フリガナ Japanese Furigana	性別 Gender	男 ・ 女 Male / Female		国籍 Nationality
氏名 Name of Applicant		生年月日 Date of Birth	年 月 日 YYYY / MM / DD	
年 月 YYYY / MM	学 歴 (高等学校卒業以降について記入してください) Educational Qualification (List from high school)			
年 月 YYYY / MM	職 歴 Work Experience			
下記については、必須入力項目ではありません。 Please provide the information below if applicable.				
英語力検定試験の成績 English Language Proficiency (TOEFL、IELTS、TOEIC、その他)	TOEFL、IELTS、TOEIC、その他 others () Score 点 (受験日 Test Date : 年 月 日) YYYY / MM / DD			
日本語能力に関する検定試験等の成績 Japanese Language Proficiency	日本語能力試験 (JLPT)、その他 others () Score 点 (受験日 Test Date : 年 月 日) YYYY / MM / DD			

※履歴書は採点の対象ではありませんが、書類選考及び面接の参考資料とします。The CV will be used for reference only.